

高橋 博信さん（昭和58年卒）

北上市教育委員会事務局 教育部総務課長

◇お仕事の内容を教えてください

教育委員会の会議開催、人事、文書管理など教育委員会の総括的な業務とともに、奨学金制度、市内小中学校の施設の管理や整備など教育環境や教育機会の充実に取り組んでいます。

◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

採用当時は税務を担当し、その後市民課に異動しましたが窓口で市民と接する機会が多くありました。

市民の皆さんが窓口にいらっしゃる機会はそう頻繁ではありませんから、来庁の意図をしっかりと伺い、分かりやすく説明するよう努めていました。その際に、市民から感謝の言葉をいただいたときは喜びを感じました。

現在、窓口立つ機会は少なくなりましたが、事業や制度に関する説明に対して、ご理解や励ましをいただくと、改めて、市職員として働いてよかったと思いますね。



◇将来の夢を教えてください

市職員として34年余り過ぎました。私より若い職員がほとんどですから新しい感性などを吸収したいですし、一方でこれまでの私の経験を伝えられたらと思います。職場を離れた後も何かに夢中になって、いつか自分を振り返るとき、精一杯やったのだと満足出来たらいいと思います。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

クラスには学力が優秀な人、部活で実績を持つ人など、北上市だけではなく県内各地から入学していましたので、様々な面で刺激的でした。バドミントン部に入部しましたが、練習に付いていくことに必死でした。ランニングで展勝地まで行ったり、筋肉痛で階段の上り下りがつらかったり懐かしいです。

休まず3年間通学できましたが、先生、友人そして家族の励ましがあったることなので、感謝しています。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

目標に向かい、厳しさや苦勞の時こそ思い切ってチャレンジする気持ちが大切だと思います。仮に目標に届かなかったとしても、近づこうとする取り組みが自身の成長につながるからです。

卒業後、皆さんは社会に飛び立ち、様々な分野で活躍されると思います。そこには、経験したことのない世界が広がります。高校生活で積み重ねる経験が不安や焦りを克服する糧になりますので、意欲を持ち続けて欲しいと思います。

☆取材後記

総務課長というお立場は、業務の裾野が広く様々な事案に関わらねばならず、責任も重く大変です。専北時代に積み重ねた経験や苦勞がそれらを乗り越える力になっているのではないのでしょうか。頂いたメッセージにはそんな高橋さんの思いが込められていると感じました。

高橋さん、素敵なメッセージを有難うございました。（担当：Y）